

諏実通信 卒業祝賀号

令和2年度
3. 3 発行
長野県諏訪実業高等学校

3学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今年度を振り返り、さまざまな活動のご報告や皆さんへのメッセージをお届けいたします。創立100周年を迎える2020年度の記念すべき卒業学年です。ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

ご卒業おめでとうございます

商業科・会計情報科

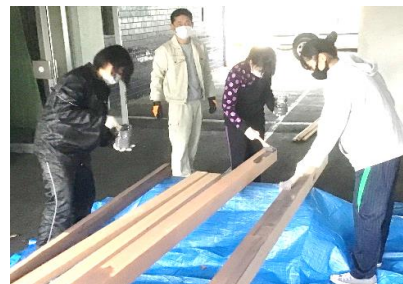
学べることに感謝

商業科主任 磯谷 幸子

3学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様には日頃より商業教育にご理解・ご協力をいただき御礼申し上げます。

商業科・会計情報科では、より分かりやすい授業を目指してICTの活用やグループで取り組む協働学習を行っています。また、資格取得にも積極的に取り組んでおり、補習期間を設けて放課後の補習を行い、生徒の学力向上、進路実現に向けたサポートを行っています。すべては商業の学びを通して社会で活躍できる人材育成のために取り組んでいます。



移住促進活動(廃屋のペンキ塗り作業体験)

今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、対面授業が本格的にスタートしたのが6月。2か月遅れの授業再開でした。その間、課題を郵送させていただいたり、Google Classroom を活用し技術系授業の配信をしたりし、ご家庭でも生徒のみなさんが自学自習できるよう工夫し、発信してきました。



諏訪の観光促進(諏訪湖カヤック体験)

また、例年さまざまな授業で地域の皆様にご支援いただき、地域と連携した活動を行っております。これにつきましても本格的に校外での活動が再開したのは、8月以降でした。3年マーケティングの授業では、松本山雅FCを応援する企業を募集する企画をEPSON様のご支援のもと行いました。2年生商品開発の授業では、下諏訪町の歴史と生活を学習し、秋宮～春宮の観光資源について学習しました。このように校外の活動自体遅れましたが、地域産業界のご支援のおかげで確実に成果を出すことが出来ました。

今年度 10 月 10 日（土）・11 日（日）に「誡実タウン」を開催しました。今年度は創立百周年、今までに携わっていただいた地域の方に感謝し、恩返しができるような誡実タウンにしたいと考え、テーマは「感謝・ありがとうございます」と決定し準備を進める予定でした。しかしコロナ禍となり、本当に開催できるのか？開催するとしても、例年通り行ってきたことはできない。生徒取締役役員と職員とでさまざまな話し合いを重ねました。そして出た結論は、この状況下だからこそ、新しいことに取り組み、お客様に満足していただけるものにしたいということでした。生徒自らが飲食店やスーパー等で行っている感染対策を調べ、担当する売場でどのような感染対策をする必要があるのか、感染防止シートはどのくらい必要なのか、アルコールスプレーはどこに設置するのか等々、今までにない誡実タウンを作り上げるための取り組みがなされました。また、株式会社 KDDI 様にご支援をいただき、混雑状況が把握できるモニターの設置と、キャッシュレス決済を導入しました。そして、当日を迎えました。初日はあいにくの雨でしたが、2 日間合わせて 1,200 人余りのお客様にご来場いただき無事開催することが出来ました。



キッズビジネスタウンも、地域の小学校 5・6 年生が 150 人も参加していただきました。感染対策をして開催したものの、たくさんの不備とご迷惑をおかけした部分もありました。そのような状況でも、参加した小学生や保護者の方から、開催に対する温かい励ましのお言葉を頂戴し、改めて地域の皆様に支えられ学習が深められていることを実感しました。

商業科特有のクラブであるパソコン部は、6 月の県大会中止で力を発揮することが出来ませんでした。秋の新人戦では団体準優勝を獲得し、北信越大会の出場権を得ました。しかし、コロナ感染症拡大のため北信越大会は中止となってしまいました。気持ちを切り替え、国家資格取得に向けて取り組み、見事 2 名の合格者を出すことが出来ました。

会計情報科では、資格取得に力を入れています。それぞれが目標を持ち学習を進めることで、例年と比較しても多くの 1 級合格や高度資格の取得が実現されています。

今年度は「今までどおり」が通用しない年でした。



10 月 誡実タウン



リモートでの報告会の様子（KDDI 様、教育委員会、の質問にドキドキしながら答えました。）

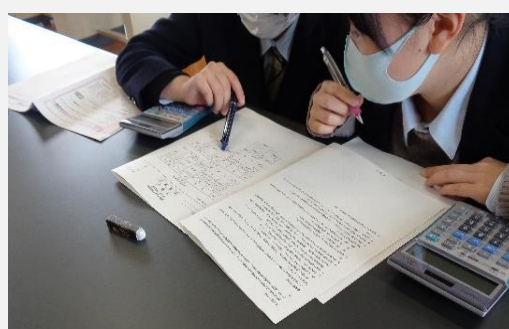
1 月 リモート報告会

様々な情報が飛び交う中、その情報を受け入れどう動いていくか、どのように対応するのかが問われました。「コロナ禍で動けない」ではなくこの状況下でできることは何だろうと考え動いていくことの重要性や、地域の皆様のご支援の温かさを実感しました。今後も地域と協力しながら、社会で活躍できる人材を育てていきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

授業の様子

普段の授業を大切に！！

今年度、対面授業がスタートしたのは6月からでした。特に1年生は4月・5月という時期は、商業科目のスタート地点、様々な不安を抱える生徒もいたと思います。電卓の使い方など、動画を配信し自宅でも課題が進められるようにしました。通常授業がスタートし、改めて対面授業できることをうれしく思いました。普段の授業を大切に取り組み、自ら考えることを意識し学習に取り組んでいます。また、協働的な学習も意識し、黒板の説明をただ写すだけではなく、お互いに教え合う学習形式も取り入れています。



検定試験への取り組み

○全国商業高等学校協会主催検定1級合格者数（在校生）

・ 情報処理検定ビジネス情報部門	28名
・ 情報処理検定プログラミング部門	9名
・ 簿記実務検定	21名
・ ビジネス文書実務検定	19名
・ 商業経済検定	16名
・ 珠算・電卓実務検定 電卓部門	36名
・ 英語検定	3名
・ 会計実務検定	1名

○経済産業省ITパスポート試験（国家資格）3名

○日本商工会議所主催簿記検定3級 合格者14名

○全商商業経済検定全5科目合格 2名

○1級取得数（在校生）

8種目合格	1名
7種目合格	0名
6種目取得者	3名
5種目取得者	2名
4種目取得者	5名
3種目取得者	9名
2種目取得者	12名
1種目取得者	26名

検定試験で身に付けた知識を活用して、実際の企業の財務諸表分析を行ったり、株式取引のシミュレーションゲームを通じて企業・市場分析をしたり、マーケティングにおけるプレゼンテーションを行ったり、プログラミング言語を活用したプログラム作成など、発展的な学習も行っています。

服飾科

服飾を通して学ぶこと

服飾科主任 唐澤美沙紀

日頃より、服飾科の教育活動にご支援・ご協力をいただきましてありがとうございます。

服飾科では、「好きをかたちに」を合言葉に、知識や技術を学ぶとともに感性を磨き、創造力や行動力を身に付け、ファッションをはじめとする様々な分野で活躍できる能力が身に付くよう、日々学習しております。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、様々な行事や研修が延期・中止となりました。特に3年生は3月からの休校によりファッションショー作品の自宅での制作を余儀なくされ、ミシン等縫製に必要なものも揃わない生徒もいる中、各々が試行錯誤し制作を進めました。目標であった文化祭でのショーとなりましたが、諏実タウンで開催することができました。感染対策などにより例年とは異なる形でのショーとなりましたが、(株)KDDI様との共創プロジェクトにより生配信やオンライン展示会の実施、安心・安全なショーの開催について、一から考え実行することができました。また1, 2年生も授業作品を着てランウェイを歩きました。3年生からの指導や合同講習等、3学年揃っての行事は初めてだったため、互いに学習意欲を高めることができました。

講習会や行事等についても、県内の講師に来ていただいたり、オンラインでの講義を行っていただき、形を変えた実施方法を模索し、ファッションデザインコンクール、着付け講習会、ウォーキング講習会、デザイン画講座、信州・未来の人づくり塾、岡学園トータルデザインアカデミーの見学、学習成果発表会、NAGANO デザインフェスタ等多岐にわたり学習活動を進めることができました。



NAGANO デザインフェスタ



ファッションデザインコンクール最優秀賞

平林 麗



新人賞

南 夏鈴



ウォーキング

1月には諏訪市教育委員会と共催し、学習成果発表会を行いました。3年間の学びの集大成として、ファッションショー形式で作品を披露しました。県内でもコロナ感染者が増加してきたことも鑑み、保護者のみの公開となりました。例年上諏訪中学校での家庭科授業のサポート、城南小学校とも育ち教室を行い、学習

成果発表会で小中学生の作品を展示していますが、ホワイエの密を防ぐため展示を行いませんでした。より多くの方々にショーや展示を観ていただきたいという願いから、生配信とオンライン展示会を行い、配信のみで700名以上の方に観ていただくことができました。この発表会を通し、3年生が成長する姿を見られたことが嬉しく思います。また、1、2年生もスタッフとして行事を支えました。3年生の姿やスタッフの仕事を通して、来年度・再来年度への意欲を高めることができる行事であると感じました。イベントの形も新しい時代に合わせて変化させ、様々な状況に対応していかなければなりません。今年度の取り組みはその第一歩であったと感じています。

服飾科での3年間の学びは、知識や技術を習得することはもちろん、作品の構想からショーの完成までの過程の中で様々な学びがあり、成長の要素があります。今後も地域の皆様、PTAの皆様のご協力を得ながら社会に貢献し、愛される生徒を育ててまいりたいと考えております。

今後ともよろしくお願いいたします。



10月 諏実タウン



定時制より

この一年を振り返って

定時制教頭 神津 武文

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。

本校に入学して以来この4年間、言葉には言い尽くせないそれぞれの思いがきつとあることでしょう。一人ひとりが日々誠実に努力している姿は、常に後輩たちの手本でした。どうか自信と希望をもって自分の人生を堂々と歩んでください。保護者の皆様には、最後まで定時制の教育活動にご理解とご協力を賜り、あらためて心から御礼申し上げます。いかなる時もお子様を温かく見守り支えてくださったことに感謝しております。

さて、今年度は4月に18名の新入生を迎え、2年生から4年生までを含めて総勢48名で新年度のスタートを切りました。しかし、授業が開始されてからまもなく、「新型コロナウイルス」感染拡大の影響を大きく受けることになり、休校措置がとられるなかで定時制本来の活動計画を変更せざるを得ない状況になりました。感染防止のためにさまざまな注意を払う毎日を送るとともに、授業の遅れを取り戻すために各行事の見直し（中止もしくは延期等）も求められましたが、感染対策を講じることにより、可能な範囲でいくつかの行事を実施することができました。7月には校内の生活体験発表会を開催。定時制に学ぶ生徒にとって、あらためて自分を見つめ周囲に感謝する大切なとき。審査の結果、2名が南信大会に出場しました。10月には恒例の定時制祭。さまざまな制約があるなか、先生方の力を借りながら生徒自身が考えたオリジナルの企画がとても充実していました。こういう時代だからこそ、人との関わりは自分を幸せな気持ちにしてくれる。生徒たちの頼もしい姿を見てほのぼのと心が温かくなりました。

また、日頃の学習に加えて特筆すべきことは、「金融教育」を（1年生において）実施したことです。経済や金融の仕組みなどを専門アドバイザーから学ぶと同時に、その知識をもとにして生徒自身が未来の人生設計を描くといった探求学習やキャリア教育に結びつける取り組みも始めました。

私ごとになりますが、今から10年ほど前、転任して間もない前任校で階段を踏み外して転落。左足をひどく捻挫してしまいました。日常生活に支障をきたし、このときに日頃の当たり前のことがいかにありがたいことなのかを痛感しました。何気ない平凡な日常生活のなかに、実は多くの幸せが隠れていると思っています。

だからこそ、定時制に学ぶ多くの生徒が日頃の授業や学校行事に真摯に取り組んでいる様子に職員の一人として誇りを感じています。苦労が多くたいへんな時代だからこそ、何気ない日常を大切にして、これからも生徒一人ひとりに寄り添い支えていく所存です。

7月 校内生活体験発表会



PTA より

心の手をつなごう

全日制 PTA 会長 三枝 鈴夏

日頃より PTA 活動に対しご理解、ご協力を賜り、心より感謝いたします。ちょうど1年前、校長先生より「PTA 会長をお願いできないか」とお話をいただき、驚きと自分が PTA 会長という大役を務めることができるのかという不安がともありました。しかし、子供と共有できる時間も残り僅か、色々な方々と触れ合えるチャンスだと考え、一年間楽しんで活動していこうと決意いたしました。

今年度のスタートは、新型コロナウイルスの影響で子供たちは3月中の休校に続き、4月も学校再開直後の休校、その後も緊急事態宣言により県立高校の一斉休校と、再開できたのは6月。入学式を終え学校生活を楽しみにしていた1年生、進級し新たな目標を持った2年生、高校生活も節目を迎える3年生、当たり前だったことが普通にできない…。子供たちもこれまでに経験したことのない不安の中、先生方には、学習面、健康面等気を配っていただきましたこと感謝申し上げます。コロナの影響は今後も予測できず、思い切り活動のできる時間も限られますが、人生の中でかけがえない時間を過ごしている子供たちには、その行動が正しいのか考える力が必要になってくると思います。そのためには私たち保護者もその見本になれるようこの難局を乗り切って行きましょう。

このコロナ禍において、PTA 活動も子供たちの活動と同様、中止や延期になっています。その中でも本年諏訪実業高等学校は、創立百周年を迎える記念の年でもありました。私もこのような記念の年に実行委員長をはじめ先生方、地域の方々と事業の企画等尽力して参りましたが、全参列者の安全確保やさらなる感染の防止の視点から一年延期することを決定させていただきました。大変残念ではありますが、式典が全校生徒、参列者の方々にとって延期という時間の中でさらなる濃い記念の百周年を迎えられるよう、引き続き皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、今年の漢字に「密」が選ばれました。三年生はそれぞれの道に進みますし、在校生も仲間とさらに楽しい時間を過ごしていくと思います。新しい生活様式の中で密閉・密集・密接の3密を避けるよう言われていますが、社会的距離があっても、「心の密」としては、つながっていたいものです。残り僅かではありますが、最後まで責任を持って活動したいと思いますので、よろしくお願いいたします。



令和 2 年度を振り返って

定時制 PTA 会長 山川 晃

校長先生をはじめ、教職員の皆様におかれましては、日頃、定時制課程の教育活動にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

また、PTA 会員の皆様には、本年度、諸活動にご協力いただき、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、過去に経験したことのないような困難な年となりましたが、教職員、保護者、そして生徒の皆さんのご尽力により、何とか乗り切ることができたのではないかと感じております。

一年間を振り返りますと、まず、新年度早々に休校となったことが思い起こされます。生徒の皆さんは、友人や先生方にも会えず、自宅等で大変不安な日々を過ごされたことと存じます。学校が再開した後も、常にマスク着用、換気の徹底等、厳戒態勢の中、緊張感が張り詰める中で学校生活を過ごされたことでしょう。毎年恒例の定時制祭も規模縮小、楽しみにしていたバス遠足も中止になったとお聞きました。もともと学校行事の少ない定時制課程にとって、このような交流の機会の減少は、大変残念なことでした。生徒の皆さんの辛苦は、筆舌に尽くし難いものであったのではないのでしょうか。

PTA 活動に関しましても、5月の PTA 懇談会が中止となり、日頃顔を合わせることもない保護者同士の情報交換の場を失うこととなりました。さまざまな事情や多様性を認め合う定時制の学びにとって、大変貴重な機会であり、私自身、大変残念に思いました。

その一方、学びの機会の大切さを心から感じた年でもあったのではないのでしょうか。限られた時間や環境の中、生徒一人ひとりが自分に向き合い、勉学に励み、将来の進路に向けて努力する姿を見ることができました。真っ暗な放課後の校庭で談笑する姿を、微笑ましく思いました。とても困難な年ではありましたが、楽しい思い出もたくさん残すことができたのではないのでしょうか。この一年間の経験を将来の糧として、羽ばたいていくことを期待しております。

最後になりましたが、創立百周年を迎えた本校の益々のご発展を祈念申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。

諏訪実業高校の活動を生徒・保護者・地域に配信中

ホームページ <http://www.nagano-c.ed.jp/sjt-hs/>
ブログ <https://suwajitsu.blogspot.com/>
Facebook 『諏訪実業高校文化ビジネス教育』 で検索

各 係 よ り

進路指導係

コロナ禍の中での進路実現

進路指導主事 三宅浩一

昨年度末から、全世界で新型コロナウイルスが猛威を振るっております。本校においては、4月3日に始業式を迎えることができたのですが、その後、全国規模での緊急事態宣言が発令されました。この影響で5月中旬まで休校となり、今まで経験のない出来事に振り回されたスタートとなりました。このコロナ禍に負けないよう、今年度の進路の目標を「コロナ禍の中での進路実現」と掲げました。しかし、想像以上に新型コロナウイルスの影響は大きく、予定されていた進路行事が余すところなく延期または中止となり、生徒・保護者の皆様からも不安の声が上がるようになりました。中でも、例年6月上旬に実施されている企業研究実行委員会企画の「企業説明会」が中止となり、求人倍率においても昨年度の2.18倍から1.77倍となり0.41ポイントも減少し、生徒たちの不安は頂点に達しました。このままでは、目標の達成ができない可能性もあるかもしれないと思い、緊急事態宣言が解除されから、遅れていた進路指導を取り戻す努力をしました。中止となった「企業説明会」の開催に向けて計画を立て、諏訪商工会議所様の協力を得て、7月2日に本校を会場として「学内企業説明会」を実施することができました。計54社の企業に参加していただく中、約80名の就職希望者は、企業から説明を受け、自分の将来を見据えながら応募企業を選択する動機づけとなり、100%の生徒が内定をいただくことができました。12月に内定者懇談会も実施することができ、現在は各企業と連絡を取りながら、制服の採寸や研修への参加など働く準備をしているところです。



進学関係においても、新型コロナウイルスの影響により、進学先を選択する上で重要なオープンキャンパスが延期または中止となっています。実際に訪れ、学校へのアクセスやキャンパスの雰囲気、先輩の様子などを肌で感じ、自分に合った進学先を選択してもらいたかったのですが、WEBリモートでの参加が多くなっております。今後はどのような状況でも対処できるように、早い段階で自分がどのような学習をしたいのか目的意識を持った中で志望校を選択し、受験形態等の計画を立ててほしいと思っています。

将来、社会人になるに当たって、「高校時代に何をやってきたか・頑張ったことは何か・それをどう活かすのか」を自分の言葉で語れるようにしてください。高校時代に培ったことを実りあるものにしてほしいと願っています。

1. 進路希望状況(2/16 現在 内定者、受験者含む)

(1) 全日制

	就職	公務員	大学	短期大学	専門学校	未定	計
商業科	54	1	3	6	34		98
会計情報科	12		7	3	7		29
服飾科	15		3	3	12		33
計	81	1	13	12	53		160

(2) 定時制

	就職	公務員	大学	短期大学	専門学校	未定	計
普通科	2			2	2	1	7

2. 就職関係(2/15現在)

(1) 内定企業(順不同)

長野銀行(2)、セイコーエプソン、大和電機工業、住友電工オプティフロンティア、ゴールドバック、日本郵政
 長野オリンパス、オーク製作所(2)、TPR(2)、くらすわ(養命酒)(2)、ファナックパートロニクス(2)、伸和テクノス、
 小松精機、nittoh、三社電機イースタン、社会福祉法人こころ、キッツマイクロフィルター(2)、オギノ、角上
 野村ユニソン、サンビジョン、アイン、シュタール(2)、ツルヤ(3)、渡辺製麺(2)、コーデンシDH、日本ミクロン、
 ハッ岳乳業、信州諏訪農業協同組合(2)、ホムズ技研、牛越製作所(2)、シムテックグラフィックス(3)、タイヤピットイン、
 高島産業、ライト光機製作所(2)、ハイライト(3)、メイユー、テピーエス(2)、ヌイテックコーポレーション、
 ダスキン諏訪、リョウワ、アニバーサリーチロル、イズミ、信越ハーネス、太陽工業、INFINITE、ディスコ、
 コージーホーム、ホテル紅や、サンユー製作所、サンセイコンピュータシステム、大井運送、イズミテクノ、
 キッツ茅野工場(2)、公務(自衛隊候補生)、トモク、コーヨーテクノス、トミーヒルフィガー松本パルコ

3. 進学関係

(1) 志願形態(定時制含む)

	大学	短期大学	専門学校	計
指定校推薦	10	14	21	45
公募制推薦	1		9	10
総合型選抜	2		19	21
一般受験			6	6
計	13	14	55	82

(2) 進学希望先(順不同)

① 大学

駒澤、日本、千葉商科、健康科学、松本、日本福祉、高崎健康福祉、大阪産業、杉野服飾

② 短期大学

松商、信州豊南、松本、

③ 専門学校

松本看護、長野県福祉大学校、松本理美容、未来ビジネスカレッジ、諏訪中央病院看護、エプソン
 情報科学、大原学園、諏訪市医師会付属准看護学院、松本技術、松本調理師製菓師 等

生徒指導係

誠実自発

生徒指導主事 藤森宏史

保護者の皆様方には日頃より、本校の生活指導にご理解、ご支援をいただき感謝申し上げます。特に、3年生保護者の皆様、3年間お子様の高校生活のお支え、たいへんおつかれさまでした。

社会人扱いをされる一步手前にある高等学校では、生徒の皆さんが、今後、職場、地域、新たな親族とどのように関わり、幸せな人生を築いていくかということについて常に考えながら対応をしています。若い頃は年配の方々から目をかけられ、リードする立場になったときには信頼される人になれるよう願って指導に努めてまいりました。

しかしながら、結果的には、生徒の力を信じながらも、生徒の自分勝手に付き合い、我がままと助長させ、自分の何がまずかったのか考えさせることができなかったのではないかと反省をしています。本来子どもが自分でやるべきことを大人がやってしまうのは育つ機会を奪うことにもなります。自分できちんと判断や行動をさせ、責任を問いかけることがもっと必要だったのではないかと考えています。

これからも、勇気づけ、体験させ、自信をつけさせるように学校は努めてまいります。同時に、一人ひとりみな違うことを忘れることなく、互いを尊重して、守らなければならない秩序を実感してもらえるようにしていきたいと思います。そして、自由を主張するには周囲への配慮が伴うこと、責任をとる前提があることを解ってもらえるようにしていきたいと思います。

集団で学ぶ場には人間力をつける大きなチャンスがあります。周囲への配慮をする誠実さ、自立してより良き社会人となるための自発力。本校の校訓は今の社会、学校においてとても大切にしなければならぬことを示してくれているように思います。一般的・社会的に疑問視されることについては、現役の私たち職員、生徒、保護者が修正していかなければなりません。将来、生徒の皆さんが自分の子どもに、諏訪実業で学んだことを自信に満ちて伝えてもらうことができるように、本校教育の進化を継続させていかなければならないと思っています。



校友会係

校友会活動について

校友会主任 松田健一

新型コロナウイルスの影響のため、今年度予定していた校友会活動はすべて予定通り行うことが出来ませんでした。そんな中、前期校友会役員は「Active」～100年分の青春を今～という前期活動方針下において、「こんな状況でも“今”できること」を考えて活動を行ってきました。

学校を少しでも明るくしたいという思いから、休校機関が明けた6月より毎月一週間程度のあいさつ運動を行い、一人ひとりが明るい挨拶で一日の朝を明るくしました。また、6月に予定していた科ノ葉祭は10月に延期し、校内祭のみ一日の実施としました。屋外での運動会やZoomを利用したリモートでのクラス発表等、感染対策についても意見を出し合いながら今までとは違った形での文化祭を創り上げることが出来ました。クラス発表ではダンス発表やクラス動画といったクラスごとの特徴が出ていた発表となりました。リモートでの中継は初めての取り組みということもあり、機器トラブルなどもありましたが、全校生徒、全職員の協力があり、無事に終えることが出来ました。

挨拶運動や科ノ葉祭は限られた活動の中ではありますが、コロナ禍において一人ひとりが考えて行動することが出来た期間であったと感じています。

そして、11月には校友会役員選挙が行われ、今井会長以下45名の新役員が「New」～101年目の新たな歴史をこれから～という後期活動目標を掲げ、活動を始めています。創立100周年という大きな節目を迎え、101年目の新しい歴史を全校で創り上げるためにはどうしたらよいのかと日々役員で話し合いを行っています。また、この状況の中、来年度の校友会活動は具体的にどのように取り組めるかの話し合いも主体的に行われていて、新たな諏訪実業高校の姿を見ることが出来るのではないかと期待されます。

来年度以降、いつまでこの状況が続くか不透明な状況です。残念ながら実際に保護者の皆様に活動の様子をご覧いただくことがなかなかできる状況ではありません。安心安全に校友会活動が行われるよう、今後とも引き続きよろしくお願いいたします。



4月 校友会入会式（放送によりHRで）



10月 諏実タウン